

春に向かって日差しが明るくなり、境内の紅梅の花も早々と咲きました。

一方、正月早々の能登半島地震により、日本海側の厳しい寒さの中、復旧もままならず、避難先で不自由な生活を余儀なくされている皆様にお見舞い申し上げます。

七草の「つがゆ筒粥の神事しんじ」・正月例大祭の御神おまとしんじ的しんじ神事では、「年の前半は水は平年並み、風はやや強い日有」「年の後半は水は平年並み、風は穏やかなれど侮るな」との御託宣ごたくせんでありました。神様のこ

とばに耳を傾け、一年を平穏に過ごしましょう。一年には四季があり、それぞれに立春・立夏・立秋・立冬の節目があります。特に冬から春に移り変わる立春は、節気による「正月節」として重んじられ、古くは立春から一年が始まることもされていたため、立春の前日を「節分」と呼び、柊ひわいの枝えだに鯛いわしの頭を刺して戸口に立てたり、炒いった豆を撒まいたり、様々な災厄さいやくを祓う行事が行われてきました。

四年に渡る新型コロナウイルスもようやく下火になったため、節分の*豆撒まきを、神職・総代と年男・招待の小学生で行うことになりました。

*豆・お菓子は撒まきますが喜よろこび交換かんはありません

今月の行事

三日 節分祭（追儺式）神職・総代・

年男・小学生で齋行

*文化財火災予防のため、古神札のお焚まき上げは行いません

四日 立春

一日 建国記念の日

並木町・胡桃下稻荷神社例祭
後草・水神社 神楽始め祭

一二日 初午

二三日 天皇誕生日

後草・水神社 装束付け祭

「節分祭」は従来通りの開催となります。福豆を拾い、災厄を祓はらいましょう。



例年の豆撒まきの様子：密集・密接